

若者転出の傾向について

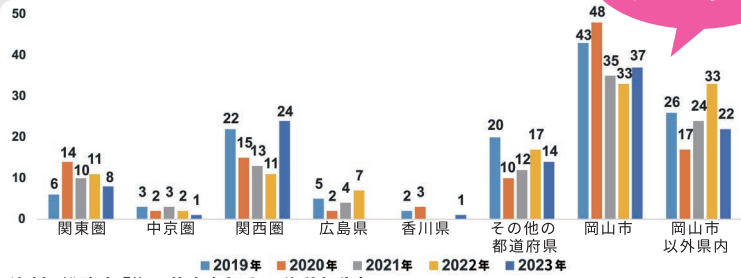
就職や進学のため移動

10～19歳の転出状況を見ると、岡山県内の市町村への転出が多く、関東圏や関西圏への転出も一定数みられます。いずれも、就職や進学に伴った転出が多いと考えられます。

20～29歳における転出状況を見ると、10～19歳の層と比べ、市外、特に岡山市や県外への転出数が更に多くなっています。これは、本格的な就職の年代であるとともに、大学進学時に住民票を移動していなかった転出者が、市外で就職するにあたり、初めて移動の手続きをする傾向が少なからずあるためと考えられます。

都市部への人口流出は全国的な傾向であり、この傾向は今後も続くと考えられます。

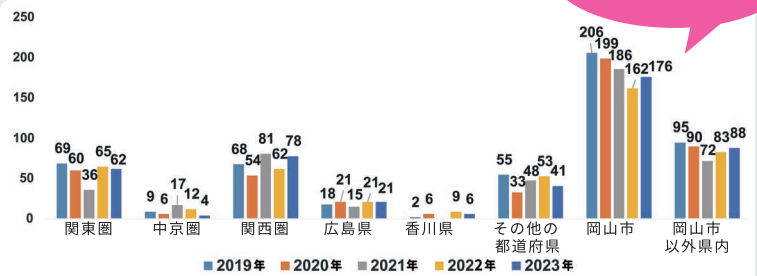
● 市内から転出先の推移(10～19歳)



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※その他の都道府県には鳥取県、山口県、愛媛県、福岡県等がある。

● 市内から転出先の推移(20～29歳)



資料：総務省「住民基本台帳人口移動報告」

※その他の都道府県には鳥取県、山口県、愛媛県、福岡県等がある。

市外への通学・通勤について

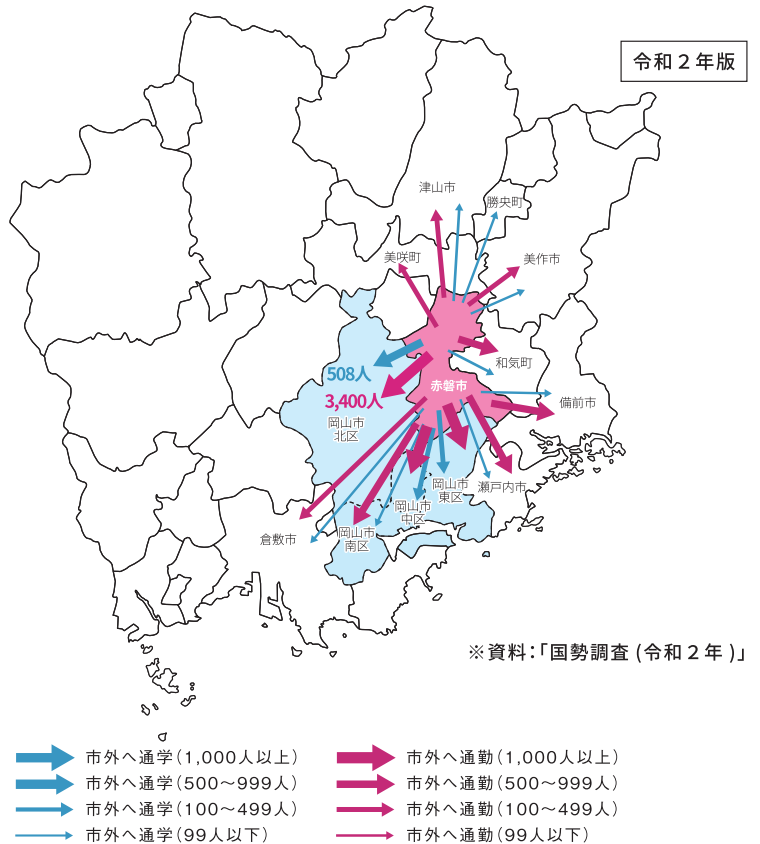
赤磐市からの通学

● **岡山市北区が508人**と最も多く、次いで岡山市東区の341人、岡山市中区の228人と続き、この上位3地域で全体の**約7.4割**を占めています。

● その他、近隣の和気町(87人)・倉敷市(65人)・津山市(22名)・備前市(15人)などとなっています。

赤磐市からの通勤

● **岡山市北区が3,400人**と最も多く、次いで岡山市東区の2,075人、岡山市中区の1,091人と続き、この上位3地域で全体の**約6割**を占めています。



市内の企業で働いている人がまだまだ少ない

赤磐市在住の就業者数17,995人のうち、市内で就業している人は6,976人で、その割合は3.9割で県内27市町村の中では5番目に低い結果となっています。

これは**地元の企業の情報が、働く世代に届いていない**ことが、要因のひとつと考えられます。

本ガイドブックの目的

そこで！本ガイドブックは、「**地元あかいわ**」で働く・生活をする方を増やすことや、地元企業と若年層の求職者(新卒・既卒など)をつなぐことを目的としています。

赤磐市にゆかりのある県内・県外の
学生や若年層の求職者



移住定住を目的とした
U・J・イターン



&



- 働 く -
work

赤磐市の企業や制度に興味を持ってもらい、就職率が上がっていくことで、赤磐市全体の雇用機会の拡大や人口増加につなげていくことができます！

life
- 暮らす -

もっともっと、「地元あかいわ」のまちのこと、企業のことを知ってほしいから

ガイドブックを読まれる皆さんへ



赤磐市内の**企業50社**の採用活動や企業情報を掲載しています。

会社概要や採用情報のほかにも「先輩社員のメッセージ」や「私たちの会社の3つのイイね！」などを通して、それぞれの企業の魅力を紹介しています！



数多くある業種の中から**あなたにあった企業**を見つけてください。

また、赤磐市の各種制度などについて詳しく説明したページもありますので、「地元あかいわ」で働くなら…といった目線でこのガイドブックをご活用ください。



「あかいわ」で
働いてみませんか？



さまざまなライフステージを応援する赤磐市の制度を紹介します！



結婚をサポート

① 赤磐市オリジナル婚姻届



結婚されるお二人をお祝いするために、一般公募から誕生した市オリジナル婚姻届を配付しています。

<入手方法>
市ホームページよりダウンロード、もしくは本庁市民課窓口や各支所にて配付

③ 赤磐市結婚新生活支援事業補助金

結婚後、住宅の取得、賃貸、リフォーム費用、引っ越しに要した費用について補助します。

〈補助金額〉最大60万円
※年齢等に応じて補助上限額が異なります。

④ 赤磐市新婚世帯家賃補助金

婚姻届提出後2年以内に新たに市内の民間賃貸住宅を契約した世帯に家賃の助成を行います。

〈補助金額〉1世帯あたり月額1万円×12か月

② おかやま縁むすびネット

岡山県が運営する結婚支援サイトで、結婚を希望する相手を自ら探すことができます。月会費や成婚料は不要です。

子育てをサポート

⑤ 子育て支援アプリ「あかいわ子育てナビ」

妊娠から出産・育児に関する情報を、アプリで手軽に取得できます。

⑥ 産後ケア事業・産後子育てサポーター派遣事業

出産後間もないお母さんが安心して子育てできるように、様々なサポートメニューがあります。

⑦ 子どもの医療費助成制度

子どもが、病気やけがで治療、入院した場合の医療費を助成する制度です。赤磐市では、高校生等までの子どもを対象に助成します。

高校3年生等まで **無料**(自己負担なし)

※詳細はお尋ねください。

⑧ 赤磐市高等学校等通学費補助金

高等学校に通学する生徒(学生)の保護者に対し、通学にかかる経済的負担の格差を軽減するために、通学に要する費用の一部を補助します。※支給には条件があります。

⑨ りんくステーション

子育てのちょっとした不安や悩み、また障がいに関する相談が気軽にできる窓口です。

- ・子育てに関する不安や悩みの相談
- ・子育て支援関係施設の紹介
- ・障がいに関する相談
- ・福祉サービスの相談、紹介
- ・医療受診の相談など

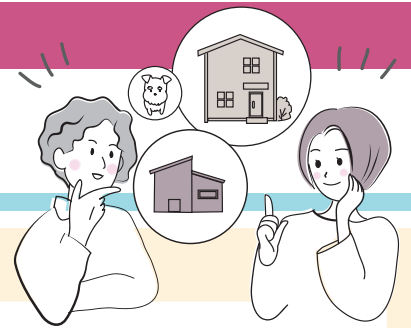
障がいのあるなしに関わらず、子育ての不安や悩み、障がいに関する様々な相談に応じます。

⑩ こども家庭センター

すべての妊産婦・子育て世帯
・子どもに対する支援を行います。



暮らしをサポート



11 赤磐市LINE公式アカウント

市からのお知らせや防災情報など、役立つ情報をお届けします。ぜひ友だち追加してご利用ください。



- ・市からの情報をお届け
- ・ごみ出し日のリマインド通知
- ・道路や防犯灯の損傷報告
- ・防災情報など



12 赤磐市移住・定住ポータルサイト

移住に関する支援情報や、移住相談会などのイベント情報、地域で活躍する先輩移住者など、さまざまな情報を発信しています。最新の情報を知り、移住への第一歩を踏み出しましょう！



移住・定住ポータルサイト公認Instagram「赤磐市のいいところ」では、赤磐市民ライターが住民目線で市の情報を発信しています。



13 「市内案内」

移住コンシェルジュによる市内案内を行っています。「こんな場所が見たい！」や「まち全体の雰囲気を知りたい！」など、皆様のご希望に沿ったご案内が可能です。ぜひご利用ください。(事前にご予約が必要です)



14 空き家情報バンク

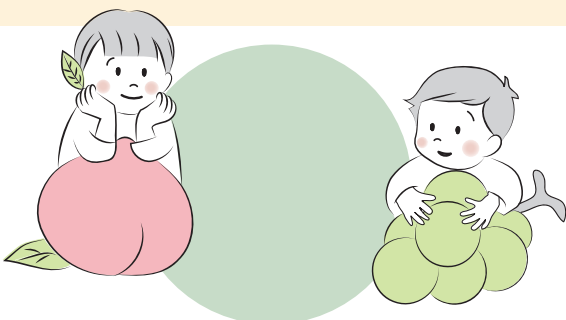
空き家の購入・賃貸を希望する方がスムーズに物件を探せるように、市に登録された空き家情報を提供しています。



15 空家相続登記支援補助金

空き家情報バンクに登録する空家の相続登記を行う方に対して、相続登記に係る費用の一部を補助します。

〈補助金額〉対象経費の1/2、上限 50,000 円



16 定住促進奨励金交付制度

市が分譲する住宅地を購入した人に奨励金を交付します。

- ※市が分譲する住宅地を購入し、1年以内に家を建てた場合。
- ※家族構成等により加算もあります。



〈補助金額〉1戸当たり 200,000 円

17 空き家改修費補助金

移住者が空き家情報バンク等を利用して購入、または賃貸借契約した物件(※)について、改修費用の一部を助成します。

- ※市内の中山間地域にある空き家は、空き家情報バンクに登録されていなくても補助対象になります。



18 【フラット35】 地域連携型(地域活性化)

「定住促進奨励金」および「空き家改修費補助金」の利用者が、長期固定金利住宅ローン【フラット35】を利用する際、金利の引き下げを受けることができます。



金利値下げ期間	金利値下げ幅
当初 5 年間	【フラット35】の借入金利から年▲0.25%

各制度のお問合せ先

項目	担当課	TEL
① ② ③ ④ ⑫ ⑬ ⑭ ⑰	総合政策部 政策推進課	086-955-1220
⑤ ⑥ ⑦	保健福祉部 健康増進課	086-955-1117
⑧	教育委員会 教育総務課	086-955-6807
⑨	りんくステーション (赤磐市役所社会福祉事務所内)	086-955-0555
⑩	こども家庭センター (赤磐市役所子育て支援課内)	086-955-2615
⑪	秘書広報課	086-955-4770
⑮ ⑯	建設事業部 建設課	086-955-1485
⑱	住宅金融支援機構	0120-0860-35